



保健学科長あいさつ

睦眉会の会員の皆様におかれましては、ますますご活躍のことと存じます。日ごろは本学の教育研究について多大なご理解とご支援を賜り、本当にありがとうございます。また、昨年は保健学科における国際交流事業に心温まるご寄附をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。徳島大学医学部保健学科は開学以来今年で19年目になり、医学部附属学校や医療技術短期大学部時代から現在に至る睦眉会の正会員数は、平成31年4月現在で7,114名（看護3,448名、放射線1,449名、検査1,004名、助産918名、大学院295名）になりました。同窓会の一大勢力として多くの卒業生が日本各地、海外で活躍されていることと思います。大学においても、入学式や卒業式への出席とともに総会・講演会の開催、徳島大学同窓会連合会交流会に参加し、活発に活動されています。

2018年の国家試験の合格率は、看護師100%、保健師96.6%、診療放射線技師94.7%、臨床検査技師100%、助産師100%と全国平均に比べて高い水準を維持しています。卒業後に就職を希望する学生は100%就職でき、全国で活躍しています。一方、大学院が設置され、これまでに博士前期課程261名（保健学修士118名、看護学修士143名）、博士後期課程37名が修了し、医療や教育・研究分野で活躍しています。大学院では、教育・研究者の育成はもとより、研究能力の高い助産師や養護教諭（専修免許状）、あるいは専門看護師や医学物理士などの高度医療専門職の育成を推進しています。このように学部から大学院にかけて一貫した教育体制の中で、資格取得だけを目標にするのではなく、自分の将来像に向けてキャリアの積み重ねができるよう支援することも大事にしています。



現在、大学を取り巻く環境は大きく変化しており、つくづく時代の流れを感じ

徳島大学医学部保健学科長
徳島大学大学院保健科学教育部長

安井 敏之



ます。その中で、徳島大学医学部保健学科はそれぞれの専攻での特色を活かしてがんばっていかようとしています。

- ①看護学専攻では、「超少子高齢社会が求めるヒューマンケアを基盤として地域に根ざした高度実践者の育成」を目指しています。ポテンシャルの高い大学院生を確保し学部を卒業しても大学とのつながりをもつためにリカレント教育に目を向け、地域とのつながりをもつために地域貢献活動を推進していきたいと考えています。
- ②放射線技術科学専攻では、「物理学的視点から医療の高品質化と安全を担う医学物理士の育成」に力をいれています。今後、病院や企業で医学物理士として活躍してもらいたいと考えています。
- ③検査技術科学専攻では、「検査の説明と診断・治療への積極的な協力といったことができる次世代の臨床検査技師の育成」を考えています。次世代の臨床検査技師は、検査値を読み考察し、積極的に診断や治療に協力できるようにしたいと考えています。

さらに、国際的な視野を育成するために、看護学専攻のRozzano Locsin教授によるInternational Nursing Basic Courseの開講や、学術交流協定校〔フロリダアトランティック大学（アメリカ合衆国）、メトロポリア応用科学大学（フィンランド）、セントポール大学（フィリピン）、プリンスオブソクラ大学（タイ王国）〕との学生交流や短期留学、語学研修等を促進しています。シリマン大学およびフィリピン大学との間で、共同学位プログラムを開設し、看護学博士がとれるようになりました。

同窓会の皆様には、今後さらに徳島大学医学部保健学科および大学院の将来に関心を寄せていただき、ご支援・ご高配をいただけますようお願いいたします。



会長挨拶

一生涯青春の勧め一

睦眉会の皆様、今年も残すところあとわずかになりましたが如何おすごでしょうか。

さて、皆様の母校の教育体制は、専門学校から短期大学部そして大学へと改組され、現在に至っております。さらに大学院博士前期・後期課程も設置され、修了生は、高度専門職者、教育・研究者として巣立ち、活躍されておられます。

徳島大学は、本年、創立70周年を迎えました。皆様にご案内致しました通り、11月2日にはホームカミングデーや記念講演会など様々な記念事業が開催されました。記念事業の詳細につきましては、次号でご報告させていただきます。

さて、徳島大学では、起業家育成に取り組まれていることをご存じでしょうか。学部教養教育では、起業に関する科目がいくつか開講され、著名な起業家が講義を担当されるそうです。本年3月に挙行された卒業式・修了式では、日立製作所取締役代表執行役社長兼CEOの東原敏昭氏から、4月の入学式では、株式会社メディアドゥホールディングス代表取締役社長執行役員CEOの藤田恭嗣氏からご祝辞をいただきました。両氏とも本学の卒業生であり、ご自身の起業経験を話されました。私は、若くして起業された素晴らしい両氏のお話に強く感銘を受けました。たくましい意志、豊かな想像力、燃える情熱、冒険心と臆病を退ける勇氣

徳島大学睦眉会会長
徳島大学医学部附属助産婦学校10期生

橋本 公子



に満ちあふれていました。両氏の祝辞に多くの学生たちが、新たな世界にチャレンジする力を得たことと想われます。

その祝辞を聞いた時、私の脳裏に浮かんだのは、ある先生から教えていただいた、サミュエル・ウルマンが80歳の時に書いた詩 Youth（作山宗久氏訳：青春）でした。『いくつになっても幼子のような未知への探求心があること。年齢を重ねるだけで人は老いるのではなく、理想を失うとき初めて老いる。青春は人生のある期間ではなく、心の若さである』という詩です。睦眉会の会長として、このような式典に出席できる機会を得て、生涯青春という気持ちの大切さを感じました。

睦眉会の会員数は7,114名で、会員の年齢は、90代後半から20代前半となり、睦眉会の積み重ねてきた歴史が感じられます。睦眉会の目的である「会員相互の親睦及び母校の発展を図り、もって保健医療の向上に寄与する」ためには、新進気鋭の若手から熟達の域に達した同窓生が、共に手を取り合って歩んでいかねばなりません。生涯青春という気持ちを持ち続け、同窓会や大学の様々な行事にぜひご参加ください。そして皆様の持ち得る力を睦眉会や徳島大学の発展にお力添えくださいますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



活躍する卒業生



徳島大学ホームページ、同窓会連合会の「ニュースレター」のコーナーに掲載されています。



徳島大学医学部附属診療放射線技師学校 昭和57年卒業
徳島県立中央病院 医療技術局 局長
一般社団法人徳島県診療放射線技師会理事 (副会長)

高開 広幸
(たかがい ひろゆき)

略歴

昭和57年 6月 徳島県庁入庁、徳島県立三好病院放射線科
平成15年 4月 徳島保健所 感染症対策係 係長
平成24年 4月 徳島県立中央病院 放射線技術科 科長
平成27年 4月 徳島県立中央病院 医療技術局 企画員
平成29年 4月 徳島県立中央病院 医療技術局 次長
令和元年 5月 徳島県立中央病院 医療技術局 局長(現職)

昭和57年に徳島大学医学部附属診療放射線技師学校をご卒業後、同年6月に徳島県庁入庁、徳島県立三好病院放射線科に配属されました。以後、病院では放射線業務全般のモダリティ業務に従事するなかで、CT業務や放射線情報システム稼働のマスター構築等において中心となり活躍・貢献されました。

徳島保健所には、SARS報道がされた平成15年4月に感染症対策係の係長として着任され、新型感染症対策、結核対策、エイズ対策等の感染症予防対策や普及啓発に取り組まれました。

平成24年4月からは徳島県立中央病院放射線技術科長として放射線部門をまとめ、また新病院改築に向けては、急性期医療・がん医療の要となる放射線機器選定を中心となって進められました。そして、3テスラMRI装置、PET-CT、高精度放射線治療装置等の新たな機器導入に取り組み、既存装置移設計画

とともに開院稼働を実行されました。

平成27年度からはコメディカル部門医療技術局の管理職として、医療安全・チーム医療推進・コスト低減等の効率的な病院運営にご尽力されています。

また、対外的にも一般社団法人徳島県診療放射線技師会の副会長として、診療放射線技術に関する教育・研究、安心・安全な放射線診療の提供を目指して活躍されています。



同窓生通信

地域包括支援センターで 働いています

徳島大学医療技術短期大学部看護学科4期生
北島町役場 保健師



ジョーンズ 敏子

みなさん、お元気ですか？
私は卒業後、保健師になり北島町役場で働いています。地域をフィールドとして様々なライフステージの方の保健活動をおこなっていましたが、現在は「地域包括支援センター」で高齢者とそのご家族の保健・福祉・介護の面を支援しています。

高齢者の支援は、人生の最終段階を支えるという難しさがあります。健康面、家族のこと、経済的なこと等々。歩んできた道をなぞりながら、その方にあった支援と一緒に考えていくとき、保健師ひとりではなにもできません。職場の仲間や地域の中の専門職と一緒にその方にあった支援を考えます。例えば医療と連携して看取りを支援したり、福祉制度の中で弁護士、社会福祉士等と相談して成年後見制度を利用し、生活を守ったりすること

もあります。それぞれにドラマがあり、それを多職種で支えていく高齢者保健とはなんと尊いことか、と感じています。

また、地域包括支援センターでは「地域課題」を見つけ、それを行政施策へつなげていく役割もあり、5年後、10年後を見据えて地域をどんなふうにつくっていくか、彩るかという楽しさもあります。

様々な職種の方と知り合うことも地域包括支援センターでの醍醐味です。他の職種の専門性を知り、尊敬しあえる仲間に出会えることは本当に素晴らしいことです。

最後に、徳島大学を卒業したことは私にとって幸いでした。地域支援でアイデアが浮かばないときや、自分の仕事の方向性に悩んだとき、大学の先生を訪ねて悩みを聞いていただき、頭の中の整理を手伝ってもらっています。地域の中でいると仕事の中の問題点に気づかず、感情だけでやり過ぎてしまいます。しかし、先生とお話することで仕事の中に「学問」があることを気づかせてくれ、勉強が大切であると再認識させていただけます。どうか、これからも徳島大学の卒業生がつながっていきますように。そしてまた、私を支えてくれる存在であってください。これからもよろしくお願いいたします。

より良い未来を考えて

徳島大学医療技術短期大学部診療放射線技術学科12期生
徳島大学大学院医歯薬学研究部 放射線治療学分野

佐々木 幹治

平成14年3月に卒業後、約16年にわたり徳島大学病院で診療放射線技師として、主に放射線治療および放射線管理の業務に従事してまいりました。平成30年11月より保健学科に赴任し、約1年が過ぎ去ろうとしております。お蔭様で、授業および実習の準備、研究論文執筆等で充実した毎日を過ごしております。病院勤務でのやりがいは患者のためにより良い医療を提供することであり、その根幹を支えるのは、医療における最先端の知識や技術、そして「心」だと思います。保健学科でのやりがいは、学生教育であったり、基礎研究および臨床応用に向けた研究です。学生教育の根幹を支えるのは、医療技術者として働く上での必要な基礎知識はもちろん、医療従事者としての「心構え」だと考えております。研究については、まだまだ満足のいく内容には程遠いですが、少しずつでも着実に前に進んでいけるように日々励んでおります。

今回の「同窓生通信」の執筆をお引き受けした際にタイトルをどうしようかと悩みましたが、「より良い未来を考えて」とさせていただきます。常に新しい目標と理

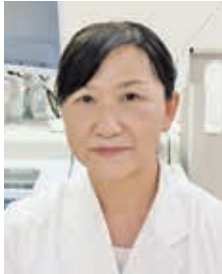
想を持って、それを実現させていくためには何が必要であり、今何をすべきかを考えて日々行動できれば数年先には、自分の理想像に近づけているかと思えます。ただし、目標や理想はある一定の期間を経て更新され続けていくものであり、安易に達成することは困難であると考えております。また、実現できるかどうかは別として、明確な目標を設定することによって、モチベーションアップに繋がると思えます。現在の私自身の目標は毎年2本ずつ論文を作成し、アクセプトされることです。最後に、学会や研究会で睦眉会の会員の皆様方とお会いする機会がありましたら、その節はお気軽にお声かけいただければ幸いです。



海外学会参加の様子（左端が筆者）

求められる臨床検査技師を目指して

徳島大学医学部附属臨床検査技師学校7期生
徳島大学病院医療技術部 臨床検査技術部門



岡本 充栄

同窓生の皆様お元気でしょうか？ 私は昭和56年に徳島大学医学部附属臨床検査技師学校を卒業後、倉敷中央病院に勤務し約9年間でウイルス、血清、一般検査を経験しました。その後、徳島大学病院にて生化学、生理、RI、血清検査に従事し、現在は中央採血室の主任として勤務しています。採血は患者さんに針を刺すという痛みを伴う業務のためトラブルになることも多く、採血手技だけでなく患者さんとのコミュニケーション能力も必要とされます。これは今までの臨床検査技師にはあまり求められなかったことです。また採血業務支援システムが開発され、最初は採血容器の準備のみでしたが、近年では患者間違いの防止や正確な採血業務の支援など、患者サービ

スの向上や採血担当者の負担を軽減するシステムが構築されています。私が勤務する採血室でも20年以上前からシステムを導入しています。さらに2019年1月には病院システムの更新に伴い採血システムと機器をすべて入れ替え、今まで以上に患者サービスの向上や働きやすい環境作りに取り組んでいます。

臨床検査技師に求められることは時代とともに大きく変化しています。正確な検査業務の実施だけではなく、測定結果の判定、機器や検査システムのメンテナンス、患者さんや医師への検査説明など多岐にわたるため豊富な知識と経験が必要となっています。今までは検査室のみで仕事をしていた臨床検査技師ですが、これからは医師や看護師など他の医療関係者とチームになれる技師が求められつつあると思われます。

私も採血室では他職種の方と一緒に働いていますが、毎日多くのことを経験し勉強することばかりです。今年度で定年退職となりますが、今まで多くの方々から助けられ指導して頂き、また様々な研修会や学会に参加できたことに感謝しています。

失敗も成功も全て身になる 助産師の仕事！

徳島大学医学部附属助産婦学校31期生
みさ子助産院



原田 美佐子

同窓生の皆様お元気でしょうか。私は助産婦学校を卒業後、徳島県立病院に就職し、三好病院で3年間、中央病院で24年間勤務しました。退職し開業して5年目となります。中央病院では、分娩中止かと囁かれた時期に、分娩チームの立ち上げメンバーとなりました。「ここで産みたい！」を目指して、助産師外来、フリースタイル分娩、骨盤ケア、アロマケアなど取り入れ、母と子の持つ力を最大限に発揮できる助産ケアに努めました。ベビーマッサージクラスも開始し、退院後の母子が集える場としました。

この頃、セルフケア指導で不快症状が減り活動的に過ごせると、分娩や産後の生活も順調で「妊娠中のケアは、分娩経過と産後の生活を大きく左右する」と、実感しました。骨盤ケアを学び、面白さにハマっていった時期でした。女性の体は年々変化し妊娠・分娩時のトラブルも増えており、ケアのレベルアップも必要なため、継続して学び続けています。

現在の活動としては、産科や小児科クリニックの協力

を得て、お母さんの身体作りや赤ちゃんケアのための各種クラスの開催、パーソナルケアや乳房ケアでの訪問をしています。専門職向けに、骨盤ケアや新生児ケアセミナーを開催し、地域にいるからこそ分かる、入院中のケアの大切さもお伝えしています。昨年末に、講師仲間小林いづみさんと共著で「産後の骨盤ケア」を出版しました。妊娠中から、産後の生活を想定して心身を整え準備をしていただきたいとの願いを込めました。在宅育児家庭相談室の相談事業や子育て安心ステーションでの赤ちゃん講座のお手伝い、中央病院の助産師外来で週1回、妊婦健診や骨盤ケア外来を担当しています。

施設勤務時代は、業務の多忙さや子育てで大変な時期もありました。人として、女性として、生活する上での様々な経験や人との繋がりが、大きな財産になる助産師という仕事が好きです。座右の銘は「失敗も成功も全て身になるおいしい仕事、それは助産師！」沢山の出会いに感謝しながら、大好きな助産師という仕事で、これからも母子の笑顔が増えるお手伝いをしていきたいと思っています。





退職された先生方からのメッセージ

退職の節目を経て

ラグビーワールドカップで日本チームの熱戦に沸き立つ一方で、広範囲に及ぶたび重なる災害被害に心痛む毎日ですが、睦眉会会員の皆様におかれましてはますますご活躍のこととお喜び申し上げます。この3月に退職を迎え、気がつけば半年が過ぎてしまいましたが、在職中は大変お世話になり、ありがとうございました。最後の2年間は学科長として睦眉会役員会に参加させて頂きました。とりわけ、保健学科の国際交流活動へのご理解とご支援を頂きましたこと、大変うれしく、睦眉会と保健学科の共同した活動が今後ますます推進されますことを願っています。

現在は甲南女子大学看護リハビリテーション学部にて任教授として勤務しており、週末はときどき徳島に帰る生活をしています。定年を節目にだいぶ仕事の仕方や日々の生活の仕方が変わりましたが、気になりつつ放置してきたことも少しずつ始めています。特に、これまで

元徳島大学大学院医歯薬学研究部 看護学系 教授
徳島大学名誉教授

雄西 智恵美



の不摂生と寄る年波には勝てず、身体のメンテナンスにせっせと取り組んでいるところです。先日の厚労省の発表では、70歳以上の人口が2,700万人と総人口の21.5%を超え、65～69歳の46.6%、70～74歳の30.2%、75歳以上では9.8%の人が就業しているとの記事がありました。年齢を重ねても社会的役割を維持できることは大事ですが、同時に高齢者にごんなどの生活習慣病罹患者が増加していることも事実です。生活習慣病は医師による治療の重要性はもちろんですが、医師以外の医療専門職の実践力の充実が一層期待されるようになっていきます。まさに保健学科/保健科学教育部で学ばれた皆様の活躍の時代です。心よりご健闘を応援しています。

退職辞令交付式

ビフォーアフター



平成31年3月末にて定年退職しました。

保健学科の前身の医療短期大学部発足と同時に着任しましたので、医療人教育に31年間携わりました。皆様の支えがあつてこそ、長く勤めることができました。厚く御礼申し上げます。

長く勤めた大学を退職するにあたり、周りの方から気持ちに変化がないか、問われました。しかし、今年に入っても、なんら気持ちに変化はなく、やっぱり4月を迎えてみないと退職した気持ちにならないのかしら、とも思いました。

ところが、3月25日に大学本部にて退職辞令交付式があり、その日を境に、大きな変化がありました。大学からの帰り道に鼻歌を歌いながら帰っている自分に気づきました。とても気持ちが軽くなっているのです。それまではどうだったかと考えますと、今日は、と予定していたことのうち、ごく一部しか仕事ができなかった、と反

元徳島大学大学院医歯薬学研究部 医用検査学系 教授
徳島大学名誉教授

香川 典子

省し、明日は、今日の積み残し分とさらにこれだけは・・・と思いつつ帰路につくのです。一方、鼻歌を歌っている私は、今日できなかったことなぞ考えておらず、今日も無事に終えることができた、と充実感いっぱいです。

では、あの辞令交付式はいったいどんな式だったのか、フツーの式でした。考えてみると、小学校、いや幼稚園くらいから、入学式とか卒業式とか、さらに始業式に終業式と、学校生活の区切りには式がありました。校長先生の話の間くのがつまらない時間だったのですが、どうやら式に出席することで気持ちの切り換えをすることが刷り込まれてきたのでしょう。退職にあたって、あの式によって私の気持ちに区切りができたように思います。

さて、辞令交付式後、半年経過しました。趣味の音楽鑑賞は再生音楽から、しだいにライブの虜になって、ウィーン国立歌劇場やニューヨークのカーネギーホールに出発していますが、11月にミュンヘンとベルリンを訪れる予定です。バイエルン国立歌劇場もベルリン国立歌劇場とも以前に訪れましたが、アフターの今回はどんな音の響きでしょうか。今から楽しみにしています。

保健学科および大学院保健科学教育部における 国際交流活動の報告

徳島大学医学部保健学科 国際交流委員会 委員長
徳島大学大学院医歯薬学研究部 看護管理学分野 教授

谷岡 哲也

保健学科および保健科学教育部では国際的な教育・研究環境の改善およびグローバル化に取り組んでいます。

まず、全米トップ50にランクされているフロリダ・アトランティック大学 (FAU) とは、1995年に大学間学術交流協定を締結し、1997年から医療技術短期大学部 (後の医学部保健学科) との交流も始まり成果を上げてきました。その後、FAU の名誉教授であるRozzano Locsin教授が2014年に保健学科に常勤の教授として着任してからは、保健学科と保健科学教育部の国際交流をリードしています。

2010年に徳島大学歯学部とヘルシンキメトロポリア応用科学大学 (MUAS) 歯学部との間で部局間協定が締結されました。2011年には、徳島大学医学部とMUAS保健看護学部との間で、多田敏子名誉教授を中心に部局間協定を締結しました。多田名誉教授の退職後は、岡久玲子准教授が引き継いで、国際交流を行っています。

2016年には、2016 QS (Quacquarelli Symonds) ランキングにおいて、タイで8位、アジアで185位にランクされているプリンス・オブ・ソンクラ大学 (PSU) と交流協定を締結し、活発に国際共同研究が行われています。

また2016年には、フィリピンで多くのキャンパスを有するセントポール大学フィリピン (SPUP) と交流協定を交わし、2017年には、保健・医療職としての英語でのコミュニケーション能力の強化のために、学部学生を対象としたSPUPへの短期語学留学が開始されました。この語学留学プログラムには、保健学科を中心に医学部から学部学生が参加しています。これからも、学生の語学力の強化に向けて学生を引率して、語

学留学をすすめていきたいと思っています。

2019年の4月には、「モンゴルとASEAN諸国における国際高度医療人育成プログラム」によって、保健科学教育部の博士後期課程に、2名の大学院生 (モンゴル1名、近藤和也教授の研究室、インドネシア1名、谷岡の研究室) が留学して研究を開始しています。

2019年には、ロクシン教授の母校である、フィリピンのシリマン大学 (SU) と共同学位プログラム (ダブルディグリープログラム) を締結しました。加えて、前述のSPUPとも共同学位プログラムを締結しました。第三島キャンパスでは、複数の共同学位プログラムがありますが、蔵本キャンパスでは初めての取り組みです。

保健科学教育部では、博士 (看護学) の教育プログラムがありませんが、このプログラムでは、SUもしくはSPUPの博士課程に大学院生が在籍して、徳島大学の博士 (保健学) とSUもしくはSPUPのPhD in Nursingの学位が取得できます。大学院生は、英語での授業の履修、レポート提出、学位論文の執筆と、PhD in Nursingの学位取得には、かなりの努力が必要ですが、看護学をさらに発展させる国際的な研究ができると期待されます。

保健学科では、国際交流委員会を組織し、さらなる保健学科および保健科学教育部のグローバル化を目指して頑張っています。これからも国際医療に貢献できる医療人、教育者、研究者を育成できる環境を作っていきたいと思っています。引き続き、同窓会からの応援をよろしくお願いいたします。



左から SPUP シスターメルセディータス学長、野地学長、
SPUP モラレス国際部長



左からロクシン教授、谷岡、シリマン大学 (SU) ベティマカン学長、
丹黒前医学部長、岩本前教授、村澤国際コーディネーター、
後列左から、学長秘書、ギノオ看護学部長、クリオベ国際担当副学長



研究室紹介

「家族の調和をはかる助産学」

徳島大学大学院医歯薬学研究部 看護学系 助産学分野 教授 葉久 真理

助産学分野では、「家族の調和をはかる助産学」をテーマに、助産学・母子保健領域の問題・課題解決につながる研究を行なっています。葉久は、母乳育児推進の中、十分な母乳育児ができない母親に対し、母乳育児が全てであるような重圧をかけてはならないとの観点から、母乳育児継続が困難な母親の査定や、正常逸脱を早期に判断するための指標作成に取り組んでいます。また、大学院助産実践コース学生は「家族の調和」を中心テーマに、妊産婦やパートナー(夫)、妊産婦の父母などを対象に、妊娠・出産・育児期にある家族の変化を捉え、その変化が家族の発達危機に至らないための支援につなげる調査を行なっています。竹林講師は、助産教育に関する研究を、近藤助教は、父親の育児を推進する中、育児をする父親のメンタルヘルスに着目し、メンタルヘルス評価に向けた研究に取り組んでいます。

教育では、大学院博士前期課程助産実践コースの学生は、2年間で58単位以上の履修により、助産実践力と、臨床上的問題・課題を解決するための研究力をつけ、助産師国家試験受験資格と修士(看護学)の学位を取得します。

本学の助産教育は、昭和32年の医学部附属助産婦学校(1957~1991)に始まり、平成3年医療技術短期大学部助産学特別専攻(1991~2005)、平成17年医学部保健学科看護学専攻での助産選択(2005~2008)、平成18年助産学専攻科(2006~2011)、そして平成23年に、大学院保健科学教育部博士前期課程助産実践コース(2011~)と、助産教育のあるべき姿を目指して教育課程を発展的に改組してきました。平成29年10月には、助産教育を支え育てていただきました先生方をお招きして、助産同窓会である秀眉会主催による徳島大学助産教育60周年記念式典並びに祝賀会を挙行することができました。その節は、同窓生の皆さまには大変お世話になりました。

今後も、徳島大学の教育理念に基づき豊かな人格形成を図るとともに、確かな助産実践力と、根拠に基づいた実践の探究から知識と技術を統合する力並びに課題解決力を育成し、人々の幸福と助産学の発展に寄与できるリーダーとなる人、豊かな未来の創造のためにチャレンジしていく人を育成して参ります。引き続きご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



竹内 美恵子先生



令和元年度 徳島大学睦眉会総会報告

令和元年 7月12日(金) 18:30 ~
徳島大学医学部第二会議室

* 役員会で総会に代える。参加者は、16名であった。

総会次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
 - (1) 平成30年度事業報告
 - (2) 役員会報告
 - (3) 平成30年度会計報告
 - (4) 会計監査報告
4. 議案審議
 - (1) 令和元年度予算案、事業計画案について
 - (2) 役員改選案について
5. その他
6. 閉会



平成30年度 事業報告

1. 保健学科/大学院保健科学教育部 国際交流基金への寄付金贈呈
2. 入学式出席(会長) 平成30年 4月 6日
3. 睦眉会主催 新入生歓迎昼食会の開催 平成30年 4月 6日
4. 徳島大学同窓会連合会 ニュースレター(活躍する卒業生)掲載 平成30年5月、11月
5. 総会・講演会の開催 平成30年 7月 1日
日亜メディカルホール(徳島大学病院 西病棟 11階)
第12回睦眉会主催講演会
演 題 「認知症の方と家族を地域でどう支えていくか」
講 師 大下直樹先生(社会福祉士)(公益社団法人「認知症の人と家族の会」徳島県支部代表)
参加者 47名 (内 会員 42名)
6. 徳島大学同窓会連合会交流会「びざん会」への出席(会長他5名) 平成30年10月11日
7. 徳島大学同窓会連合会交流会「関東びざん会(東京)」への出席(会長他1名) 平成30年12月 2日
8. 睦眉会会報(第18号)の発行 平成30年12月15日
9. 卒業式・医学部各賞授与式・謝恩会出席(会長他) 平成31年 3月22日
10. 卒業・修了記念品の贈呈 平成31年 3月22日
11. 退職教員記念品贈呈 平成31年 3月

役員会報告

1. 役員会開催状況 (平成30年4月～令和元年7月)

| 年度 | 回数 | 開催日 | 場 所 | 参加人数 |
|-------|----|-----------------------------|-------------------------|-------------|
| H. 30 | 1回 | 平成30年 4月 2日 (月) | 医学部第二会議室 | 18名 |
| | 2回 | 平成30年 5月17日 (木) | 医学部第二会議室 | 17名 |
| | 3回 | 平成30年 6月14日 (木) | 医学部第二会議室 | 23名 |
| | | 総会開催 平成30年 7月 1日 (日) | 日亜メディカルホール (徳島大学病院内) | 42名 (会員) |
| | 4回 | 平成30年 7月27日 (金) | 医学部第二会議室 | 19名 |
| | 5回 | 平成31年 1月17日 (木) | 医学部第二会議室 | 22名 |
| R. 1 | 6回 | 平成31年 3月25日 (月) | 医学部第二会議室 | 18名 |
| | 1回 | 令和元年 5月29日 (水) | 医学部第二会議室 | 23名 |
| | 2回 | 総会開催(役員会) 令和元年 7月12日 (金) | 医学部第二会議室 | 16名 |

2. 各種委員会開催状況

| 委員会名 | 開催日 | 場 所 | 参加人数 | |
|-----------|------------------|--------------------|--------------|-----|
| 会報委員会 | 1回 | 平成 30年 8月 29日 (水) | 医学部第五会議室 | 11名 |
| | 2回 | 平成 30年 10月 2日 (火) | (保)B32 セミナー室 | 12名 |
| | 3回 | 平成 30年 10月 29日 (月) | 医学部第五会議室 | 12名 |
| | 4回 | 平成 30年 11月 8日 (木) | 睦眉会事務室 | 5名 |
| | 5回 | 平成 30年 11月 19日 (月) | 睦眉会事務室 | 4名 |
| 総務・渉外委員会 | 平成 30年 6月 6日 (水) | 医学部第二会議室 | 8名 | |
| ホームページ委員会 | 随時 | | 4名 | |

3. 役員会・委員会における主な協議事項

- 1) 睦眉会総会・講演会について
- 2) 睦眉会役員改選について
- 3) 睦眉会会則の改正について
- 4) 睦眉会会報の発行について
- 5) 睦眉会同窓会名簿発行について
- 6) 睦眉会の役員の委員会活動について
- 7) 徳島大学同窓会連合会への協力について
- 8) 徳島大学創立70周年事業への協力について
- 9) 保健学科・保健科学教育部国際交流基金への寄付金贈呈について
- 10) 新入生歓迎昼食会開催について
- 11) 卒業・修了記念品について

● 平成30年度 睦眉会会計報告 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

Table with 2 columns: 項目 (Items) and 金額 (Amount). Rows include 本部会費 (142名分), 貯金利子, 繰越金, and 収入合計 (7,078,509).

Table with 2 columns: 項目 (Items) and 金額 (Amount). Rows include 総会費用, 印刷費・送料, 会議費, 慶弔費, 保健学科/国際交流基金への寄付金, 備品費, 会報委員会活動費用, 事務局運営費, 雑費, 支出小計 (3,441,192), 予備費, and 支出合計 (7,078,509).

Table with 3 columns: 総収入額 (7,078,509), 総支出額 (3,441,192), and 次年度繰越額 (3,637,317).

平成31年3月31日 会計 竹林 桂子

会計監査報告

平成30年度の会計報告書を監査いたしました。
会計処理は適正に、正確に処理されていることを証明いたします。

令和元年7月12日 監事 中道 玲子
吉田知位子

* 以上の報告事項は、すべて承認された。

● 令和元年度 事業計画

- 1. 保健学科/大学院保健科学教育部 国際交流基金への寄付金協力
2. 徳島大学創立70周年記念事業への寄付金協力
3. 入学式出席(会長) ... 平成31年4月6日
4. 新入生歓迎昼食会の開催 ... 平成31年4月6日
5. 徳島大学同窓会連合会 ニュースレター (活躍する卒業生)掲載 ... 平成31年5月、令和元年11月
6. 令和元年度睦眉会総会(役員会で代える)の開催 ... 令和元年7月12日
7. 徳島大学同窓会連合会交流会「びざん会」への出席(会長他) ... 令和元年9月19日
8. 徳島大学創立70周年記念事業ホームカミングデー開催(キャンパスツアー、講演会) ... 令和元年11月2日
9. 徳島大学創立70周年記念事業記念講演会・記念式典・記念祝賀会への出席(会長他) ... 令和元年11月3日
10. 睦眉会会報(第19号)の発行 ... 令和元年12月頃の予定
11. 睦眉会同窓会会員名簿(2019年版)発行 ... 令和元年12月頃の予定
12. 卒業式・医学部各賞授与式出席(会長他) ... 令和2年3月23日
13. 卒業・修了記念品の贈呈 ... 令和2年3月23日

* 事業計画案は、提案どおり可決された。

● 令和元年度 睦眉会予算 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

Table with 2 columns: 項目 (Items) and 金額 (Amount). Rows include 本部会費 (135名分), 貯金利子, 前年度繰越金, and 収入合計 (6,337,517).

Table with 2 columns: 項目 (Items) and 金額 (Amount). Rows include 総会費用, 印刷費・送料, 会議費, 慶弔費, 保健学科/国際交流基金への寄付金, 徳島大学創立70周年記念事業への寄付金, 会報委員会活動費用, パソコン関連費用, 事務局運営費, 雑費, 支出小計 (3,700,000), 予備費, and 支出合計 (6,337,517).

* 予算案は、提案どおり可決された。

令和元年度 睦眉会役員

(2019年7月現在)

| 役 職 | | 氏 名 | 所 属 | 勤 務 先 |
|--------|---------|----------|----------|------------------------------|
| 名誉会長 | | 安 井 敏 之 | 学科長 | 徳島大学医学部保健学科長（徳島大学大学院医歯薬学研究部） |
| 会 長 | | 橋 本 公 子 | 助 | ウェルネス橋本助産所 |
| 副会長 | | 長 谷 奈生己 | 看 | 徳島大学病院 |
| | | 川 田 直 伸 | 放 | 徳島大学病院 |
| | | 江 原 隆 | 検 | 徳島県立中央病院 |
| | | 森 内 洋 美 | 助 | 徳島大学病院 |
| 理 事 | 事務局 | 梅 野 真由美 | 検 | |
| | | 富 永 辰 也 | 検 | 徳島大学大学院医歯薬学研究部 |
| | 会 計 | 竹 林 桂 子 | 助 | 徳島大学大学院医歯薬学研究部 |
| | | 桑 村 由 美 | 看 | 徳島大学大学院医歯薬学研究部 |
| | 総 務 | 富 永 正 英 | 放 | 徳島大学大学院医歯薬学研究部 |
| | | 安 藝 健 作 | 検 | 徳島大学大学院医歯薬学研究部 |
| 理 事 | | 葉 久 真 理 | 助 | 徳島大学大学院医歯薬学研究部 |
| | | 佐 藤 ゆかり | 看 | 徳島大学病院 |
| | | 井 口 和 子 | | 徳島大学病院 |
| | | 米 田 好 美 | | 徳島市民病院 |
| | | 岩 野 朝 香 | | 徳島大学病院 |
| | | 飯 藤 大 和 | | 徳島大学大学院医歯薬学研究部 |
| | | 千 葉 進 一 | | 徳島大学大学院医歯薬学研究部 |
| | 富 澤 栄 子 | 四国大学看護学部 | | |
| | | 天 野 雅 史 | 放 | 徳島大学病院 |
| | | 山 田 健 二 | | 徳島大学病院 |
| | | 七 條 光 則 | | 徳島県立中央病院 |
| | | 佐々木 幹 治 | | 徳島大学大学院医歯薬学研究部 |
| | | 佐 藤 雅 美 | 検 | 徳島大学病院 |
| | | 岡 本 充 栄 | | 徳島大学病院 |
| 森 さゆり | | 徳島大学病院 | | |
| 監 事 | 上 田 美 香 | 助 | 徳島大学病院 | |
| | 中 道 玲 子 | 助 | | |
| アドバイザー | 吉 田 知位子 | 検 | 徳島県立中央病院 | |
| | 河 田 明 男 | 放 | 三船病院 | |

編集後記

令和最初の会報をお届けします。会報委員会のメンバーをはじめ、ご執筆いただいた皆様に感謝申し上げます。

さて、5月1日から令和元年がスタートしました。すでに年の瀬を迎えようとしていますが、皆さん、いかがお過ごしでしょうか？ 来年には東京五輪が開催されますが、徳島県では開会式が行われる7月24日を『とくしま藍の日』と定め、官民をあげて特産品である藍のPRに取り組んでいます。藍の

日を制定したきっかけは、東京五輪・パラリンピックの公式エンブレムに藍色の組市松紋が採用されたからだそうです。また、今年の5月には『阿波藍』が日本遺産に認定されるなど藍に対する関心が高まっています。2020年東京五輪という、徳島の藍を国内外に発信できる絶好の機会が訪れています。皆さんもぜひ一度徳島の様々な藍にふれてみてはいかがでしょうか？

睦眉会 会報委員 **七條 光則**



徳島県商工労働観光部新未来産業課 AI/TOKUSHIMA より引用

✧ 徳大ニュース ✧

徳島大学に関するニュースをお届けします。詳細は徳大広報ならびに本学HPをご覧ください。
また、徳島大学同窓会連合会のFacebook (<https://www.facebook.com/bizankai/>) では、徳島大学の情報をよりリアルタイムでお届けします。ぜひ、「いいね!」よろしくお願いします。

<徳島大学総務部総務課>

Tel : 088-656-9979 Fax : 088-656-7012 URL : <https://www.tokushima-u.ac.jp/>

Face book



1 徳島大学は創立70周年を迎えました

1949年に創立した徳島大学は、2019年11月2日に創立70周年を迎えました。

創立70周年を記念して、11月2日にはHome Coming Day、11月3日には、記念式典・祝賀会、記念講演会を開催しました。11月2日のHome Coming Dayでは多くの同窓生のみなさまにご来場いただき、盛会となりました。

創立70周年記念事業へのご支援・ご協力に厚く御礼申し上げます。今後も本学へご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

なお、記念行事の様子については、本学HPへ掲載しておりますので、ご覧ください。

https://www.tokushima-u.ac.jp/about/anniversary_70th/memorial_ceremony/

2 公益財団法人とくしま産業振興機構と協定締結

2019年7月19日、公益財団法人とくしま産業振興機構と連携協力に関する協定を締結しました。本学の研究シーズと、中小企業のニーズとのマッチングによる、新技術・新商品化といった社会実装に繋げるため、とくしま産業振興機構が今まで培ってきたノウハウやネットワーク等の情報を共有・活用することで、徳島県内に新たな産業を創出することを目指していきます。

3 研究クラスター「研究シーズ集2019」及び「研究成果2019」を作成

「徳島大学の顔」として社会に還元できる研究成果を出すために、学部や分野の枠を超えた研究者集団による横断的研究を支援し、新たなイノベーションを創出できる環境として、研究クラスター制度を2017年からスタートしました。

運用から丸2年を迎え、本制度の取り組みをまとめた、「研究シーズ集2019」及び「研究成果2019」を作成しました。本学HPよりPDF版でご覧いただけます。

<https://cluster.tokushima-u.ac.jp/news/973.html>

4 留学生共同サポートセンターとくしまを開設

2019年7月10日、国際センターに「留学生共同サポートセンターとくしま」を開設しました。徳島県が実施する「留学生県内定着促進事業」の一環として開設されたもので、徳島県内の高等教育機関に在籍する外国人留学生の入学から県内就職までを支援することを目的としています。本サポートセンターでは、徳島県及び県内各高等教育機関と協力の上、外国人留学生の各種相談の受付、就職支援セミナーの実施等を行います。

徳島大学基金へのご協力をお願い

「徳島大学基金」は、皆さまから事業区分ごとにご支援いただいた寄附金を基金として積み立て、徳島大学の教育研究等の発展のために使用させていただくものです。webサイトからクレジットカードやコンビニを利用したお申し込みも可能となりました。

教育・研究・社会貢献事業基金

プロジェクト事業や全学的な教育・研究、管理運営、環境整備などへのご支援

国際交流・グローバル化事業基金

留学、教員の海外派遣など、国際交流事業へのご支援

修学支援事業基金

授業料等の免除など、学生の修学へのご支援

学部等支援基金

各学部、先端酵素学研究所の教育・研究や管理運営、環境整備へのご支援

古本募金 <https://www.furuhon-bokin.jp/tokushima-u/>

不要になった本、CD、DVDを寄贈いただき、買取金額を基金に充てます

詳しくは徳島大学基金
ホームページ
(<https://www.tokushima-u.ac.jp/contribution/>)
をご覧ください。



- 基金に関するお問合せ
徳島大学基金事務局
(担当：総務部総務課)
電話 088-656-9981
- 申込手続き、税制上の優遇措置に関するお問合せ
徳島大学財務部資産管理課
電話 088-656-7037